

鳥取 YEG 通信



発行：平成29年4月15日
鳥取商工会議所青年部
広報情報発信委員会

鳥取商工会議所青年部通信

4

April 2017

■平成29年度 会長所信



鳥取商工会議所青年部
会長 **福田 通拓**
株式会社 インテリア
フクタ

春の便りが次々に聞かれる季節となりました。皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平成29年度会長を務めさせていただきます福田通拓と申します。よろしくお願いたします。

鳥取商工会議所青年部も1300名を超え、かつて経験したことがない人数でのスタートとなりました。住宅関係の仕事から弁護士やメディア、そしてダンススクールとさまざまな職種の方が集合した大規模な異業種交流の場となっております。メンバー一人一人素晴らしい個性と能力を備えた方が揃っており、今まで以上に活気と行動力にあふれた組織になってきました。

さて、今期のテーマは「全ては鳥取YEGの為に、全てはふるさと鳥取発展の為に」。魅力ある人・企業・地域を築く為、力を合わせ行動を興そう。を掲げさせていただきます。景気の後退、少子高齢化、インターネットの普及による流通の変化など、地方経済はさまざまな影響の中、活路を見い出せずじままです。地域を活性化させるのも企業を活性化させるのも原点は人です。個の能力を繋ぎ合わせそれぞれの能力を高めることができれば、新たに進化し高品質のものが作られるのではないかと思っております。その学びの場がここにあります。

この場は、私にとって『道場』です。何も分らない自分がこの場を借りて経験し、勉強させていたいただいております。活動で経験を積んでいくうちに仕組みや方法を学びました。この時にいつも私の心にあるのが『体当たりの挑戦』です。鳥取県東部の気質、日本人気質

の奥ゆかしさ、謙虚さは大変素晴らしいものですが、1歩前に進む勇気を持つことも必要です。その勇気は失敗を恐れては取り組むことができません。その1歩進む勇気を支える言葉として『体当たりの挑戦』は無防備な言葉のようにですが、プレッシャーを和らげ肩の力を抜いてくれます。しかし、体当たりの挑戦といえども大きな失敗は許されません。鳥取YEGでは自分がやってみたい事を仲間と協議し、経験豊富な先輩の指導を仰ぎ事業を遂行するという希少な経験ができる場だと思っております。人として成長する上で当会での活動は不可欠な道場ではないかと思えます。多くの方にこの道場を活用し、勉強させていただけたらと思っております。この1300の能力1300の行動力を結束させれば今までのない新しい価値、イノベーションを生み出すことができ、そして更にその輪をYEGから広げ多くの人の交流を持つことにより多くの可能性を生むことができると思います。この地に可能性を生むことが発展への第1歩だと思っております。個の能力を高め、仲間と結束し、地域経済の発展のため、豊かで住みよい郷土を築くために行動を起こしてまいります。

4月には毎年恒例の花見を行いました。先輩が築かれた因幡千本桜、桜の園の偉業を継続させていくことも我々の使命だという思いから3月に植樹を行いました。年間数十本ですがこの桜の苗が10年、20年と時間が経つことに成長し、また市民の皆さまを楽しませてくれることを願って活動しております。今回も桜の園でフォトコンテストを行い、OBをお招きして懇親会も開きました。OBの皆さまから現役時代のお話を聞き、YEGの素晴らしさを知ることができました。卒業された皆さまとの交流はとても大切なことだと思っております。この花見をこれからもOBの皆さまとの絆の場として継続させて行こうと思っております。OBの皆さま、来年もご参加よろしくお願いたします。また、今まで追加されておられないOBの方々のご参加をお待ちしております。これからの1年間温かく見守っていただき、ますようよろしくお願いいたします。

3月送り出し例会

日時 平成29年3月8日(水) 19:00～21:00
場所 ホテルニータオータ鳥取 鶴の間

平成28年度最後の例会となりました。会長の最後の挨拶は力強く思いがたくさん詰まった挨拶となりました。この1年間の思いを会員皆が思いめぐらせ、聞いたのではないのでしょうか。最後に次年度会長へのエールを送りました。委員長報告では未経験者が多かった今年度委員長の言葉からは、不安ながらも楽しく、いい経験とのこと。家族、委員会メンバーの支え・協力への感謝、会長への思いが多く発表されました。

送り出し例会が始まりました。今年度の卒会者は谷本暢正君(監事)、春名英介君、井口善博君の3名です。井口君が欠席となり、2名での卒業式が始まりました。笑いも交えての楽しい紹介とともに一人一人が入場。谷本監事は会長経験者で、YEGでは長年にわたり多大なる功績を残されてきましたので、牧浦会長から記念バッチが贈られました。

お二人への送る言葉、新入会員から選ばれる恒例の工一ルでは、会場を沸かせるほどの笑いと迫力がありました。卒会者のそれぞれのお別れの言葉も会員皆の心に残ったことでしょうか。鳥取YEGの今年度最後の例会は、卒会のお二人を囲んで時間が足りないくらいのにぎやかな交流の場となりました。送り出し例会恒例の現役会員によるアーチも例年になく長さとなりました。



卒会される谷本監事、春名委員とYEGメンバー

日本YEG第36回全国大会北海道 いわみざわ大会に参加

日本商工会議所青年部(日本YEG)第36回全国大会北海道いわみざわ大会が、2月23日から4日間の日程で、北海道岩見沢市内で開催されました。

開催地キヤッチフレーズに「泰山北斗」を掲げ、「今こそ魅せるYEG開拓精神」をテーマに、「スピリッツ」と掲げ、未開の地を切り拓いた先人達の開拓者精神を引き継ぎ、次代の泰山北斗たる気概を持った北海道の仲間達の熱い思いに込めるため、全国各地のYEGから約5000人が集結しました。

鳥取YEGも牧浦会長以下10名で参加させていただきました。事前情報では、岩見沢は零下15度以下になると聞いていましたが、天候に恵まれ思ったよりも寒くなく、野外で行われた物産展では、岩見沢をはじめ道内の味覚を集めた品々の買い物を楽しみ、大懇親会では、中国大会鳥取大会で絆を深めた他YEGの方々とは久々に再会し、北海道の美味しい料理を食べながら、大いに懇親を深めることができました。

記念式典では、大会会長の内田茂伸君の挨拶が心に残りしました。「岩見沢に来て下さってありがとうございます。ここが僕の生まれた育った故郷、愛してやまない岩見沢です」

YEG宣言の一節に「私たちはYEGとして、地域を愛し、日本を愛する」とあります。参加したメンバーも、地域を愛することがYEGの原点であり、誇りをもって地域に貢献することが我々の目的であると再確認することができたと思います。

この大会を通じて一番印象に残ったのは、北海道民の人柄です。移動中の電車での事です。席が空いているのに誰も座りません。よく見ると優先席でした。

岩見沢YEGは会員数が約50人と少なく、大会運営には市民ボランティアが多数協力し、駅周辺での道案内や写真撮影、会場設営や参加者に渡す登録キットの袋詰め作業など、献身的に取り組まれたそうです。皆さんの地域を思う心、人の優しさを感じられた素晴らしい大会でした。次年度全国大会は、岐阜県各務原市で開催されます。来年はたくさんメンバーと共に参加したいと思えます。

平成28年度鳥取YEG専務理事 杉内勝成



全国大会に参加したメンバー

倉吉YEGに鳥取県中部地震義援金の贈呈

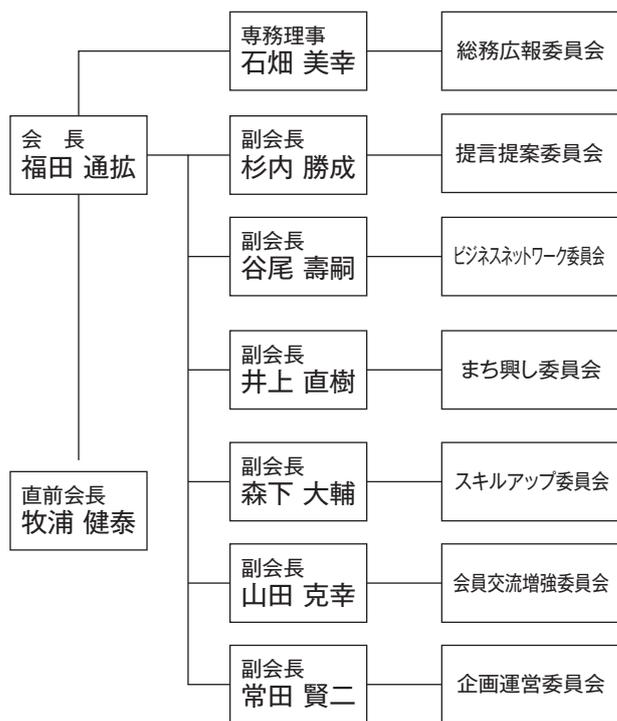
3月7日(火)に開催された鳥取県商工会議所青年部連合会代表者会議にて、鳥取YEG米子YEGより昨年10月に発生した鳥取県中部地震で大きな被害があった倉吉YEGに対して義援金の贈呈が行われました。倉吉YEGから支援への感謝と復興へ向けた力強い言葉をいただきました。鳥取県連は日本一小さな県連ですが、その分日本で一番近いつながりを持つ県連であると再認識しました。



義援金の贈呈

平成29年度 鳥取商工会議所青年部組織表

○=委員長理事 □=副委員長理事 ◻=監事
(敬称略、理事以下は五十音順)



- 恩田奈津江、○中崎雄一、○安田道人、□田中健志
荒川恵介、磯部紗希、今井敏明、上田雅稔、奥平 肇
奥山大地、川口 毅、小林真帆、嶋田耕治、田中大喜
西村 賢、福石幸生、牧浦健泰、山根 真
- 糸原 修、○常村 修、○野田幸洋、□山本有希
石原康司、岩本慎司、宇賀史生、下石直生、小山尚悟
白岩裕己、戸田雅之、中野内道徳、中村亜津志、花田富幸
浜本昌一、松島新太郎、圓山賢治、渡邊哲朗
- 森田浩二、○大田昌史、○山中慎也、□山崎弘嗣
大國祐輔、坂下美佐子、杉本雅史、多賀井敦、田中将樹
田村康悦、徳田愛子、永美祐輔、林 弘人、古林 晃
松村将史、三村貴志、安田光宏、山本浩志
- 村田浩一、○富田光政、○太田哲平
井上郁代、井上千尋、植田英樹、後田拓也、奥村道哉
懸樋弘樹、金居洋子、菅原大介、田中博行、田中美香世
英 智哉、平田祐輔、福田哲夫、福田弘幸、山本祥敬
米山 聡
- 三坂淳仁、○玉谷 洋、○谷口里江
石毛充之、石原寛之、上田真由美、木下裕也、小谷好男
清水浩司、田中 崇、谷川元気、鳥越昭秀、中西康裕
西尾 仁、林 和彦、圓井貴志、森本智幸、山本博崇
- 岡田 悠、○高藤軌晋、○高垣 弘
大谷 学、大深仁恵、尾田政和、亀井 祐、杉内順一郎
高田晋士、中江優二、中原卓也、西田律夫、林慎太郎
平木 浩、村尾保雄、八木谷昭一、矢倉浩之、湯川 渉
- 中井史生、○西川昌孝、○荒田潤之介
池田 進、奥平智一、加藤 寛、小泉卓也、小谷憲司
湖山 諒、坂野経三郎、野津周平、平田 健、平家由紀
本城 誠、牧村 匠、村山浩一、山本優太

鳥取県立布勢運動公園『桜の園』記念植樹事業

去る3月11日午前10時より、鳥取市の布勢総合運動公園にある「因幡千本桜 桜の園」にて、鳥取商工会議所青年部 因幡千本桜「桜の園」記念植樹式典が行われました。

東日本大震災から丸6年となるこの日、晴れ渡る春爛漫の弥生の空の下、まずは犠牲者のご冥福を祈り黙祷。牧浦健泰鳥取YEG会長あいさつの後、平井伸治鳥取県知事、油野利博鳥取県体育協会会長、英義人鳥取商工会議所副会頭の3名のご来賓の方よりご祝辞をいただきました。次に因幡千本桜の年譜を披露し、牧浦会長より平井知事へ植樹の目録を贈呈。

そして植樹の会場へ場所を移し、平井知事と油野会長、英副会頭と牧浦会長のペアで記念植樹セレモニーが行われました。残りの18本は約50名の鳥取YEGメンバーとその家族が植樹し、今回は合計20本の苗木を植えて閉会となりました。

この「桜の園」は、鳥取YEGのOBが1980年代に5年間にわたり、千本の桜を植えたことをきっかけに誕生した、鳥取市の桜の名所の1つ。最初の植樹から30年余りが経ち近年枯れる桜も目立ち始め、現在は894本に減少してしまいました。

そこで改めて桜の植樹を行い、「桜の園」を整備する取り組みを鳥取YEGが発信し、鳥取県も巻き込んで、今後5年間をかけて残りの106本を植樹することに。

「市民の財産、県民の皆さまの憩いの場となるよう願って、今回の事業を行いました」と語った牧浦会長。

鳥取YEGでは、今後も継続的に植樹を行うとともに、鳥取の観光名所の1つとして更なる情報発信を進めていきます。

平成28年度 鳥取YEG総務委員会

副委員長 圓井 貴志



牧浦会長



平井知事



英副会長



鳥取県体育協会 油野会長



30年前の桜の園設立時の代表理事 縫谷OB



桜の苗木目録贈呈



植樹の様子



子ども達も植樹に参加



植樹に参加したメンバー